

令和 5 年度 城東小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

（1）基本目標

「人間尊重の教育」を基盤とし，自ら考え 正しく判断し 行動できる 豊かな心をもち，知・徳・体の調和の取れた心身ともに健やかな，人間性豊かな児童を育成する。

（2）具体目標（具体的な児童生徒像など）

- ・ こころ豊かで思いやりのある子 （やさしく）
- ・ よく考えすすんで学ぶ子 （かしこく）
- ・ 健康で明るくたくましい子 （たくましく）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

教育目標の具現化を図り，児童が豊かな心をもち，充実した学校生活が送れるよう，教職員が一丸となって取り組む学校づくりをする

～「一人一人のよりよい未来のために，子供たちの今に，全力でかかわる『チーム城東』」～

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

教職員一人一人が主体性をもち，協力して取り組む学校組織を構築する。

- （1）「和」を基盤とし，同僚性を発揮して互いに学び合い切磋琢磨するチーム城東の構築を目指す。
- （2）児童の実態や地域の要望，感染症対策を含む社会の動向等を踏まえ，家庭・地域の教育力を生かした教育活動を通して「地域とともにある学校づくり」の推進に努める。
- （3）児童のよさを認め，励まし合い，望ましい人間関係を醸成する中で，豊かな心の育成を図る。
- （4）落ち着いた雰囲気の中で，児童が主体的・探究的に学び合う「対話的で深い学び」を展開し，学力の向上を図りながら「興味関心をもって学びを楽しむ子ども」を育てる。
- （5）学校環境及び施設・設備の計画的な整備・活用を推進し，安全確保と教育効果の高揚に努める。

【旭地域学校園教育ビジョン】

「地域に愛される旭っ子の育成」～地域との豊かなかかわりを目指して～
育てたい児童生徒像

- ・ 自ら学び・考え・創造力のある児童生徒（学力向上）
- ・ やさしく互いに支え合う，心豊かな児童生徒（宮っ子心の教育）
- ・ 健康でたくましく，自他の生命を守る児童生徒（元気アップ教育）
- ・ 自分の良さを生かし，夢を実現しようとする児童生徒（宮・未来キャリア教育）

4 教育課程編成の方針

- （1）学校教育目標の具現化を図るため，学校経営方針や学校評価・学校課題・子供の姿や地域の現状等をふまえるとともに，前年度反省，地域の意見等を十分に考慮し社会に開かれた教育課程を編成する。
- （2）子供が生き生きと取り組む特色ある学校づくりを目指した教育課程を編成する。
 - ①全学年において複数の教職員で指導に当たる。
 - ②異学年間交流や子供の主体的活動を推進し，自己有用感を高める。
 - ③体験活動や地域人材を活用した活動を意図的・計画的に実践する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

（１）学校運営

- ・教職員一人一人が主体性をもち、協力して学校運営に取り組む・・・「チーム城東」の結束
 - ・互いに学び合い切磋琢磨する職員集団づくりに努める。また、業務の改善、一人一人のライフワークバランスおよび勤務時間を意識した働き方改善に努める。（学校運営の適正化）
 - ・教職員行動規範の徹底による信頼の堅持と、一人一授業等を生かした授業力の向上に努める。（服務規律の遵守・授業力向上）
 - ・ポストコロナ時代に沿ったニーズに応えられるよう、創意・工夫ある教育課程を編成し、「特色ある教育活動」を推進する。（コロナ・リカバリープラン 教育課程の改善）
- 家庭・地域の教育力を積極的に生かした教育活動の充実、学校公開やHP・各種たより等による情報の発信、うつのみや学校マネジメントシステムによる学校運営の評価を生かし、「地域とともにある学校づくり」の推進に努める。（地域および学校園を生かした学校づくり）

（２）学習指導

- ・課題設定・ふりかえりの工夫及び「対話的な学び」を通した「分かる授業」による学力の向上
- ・落ち着いた雰囲気学習時間づくり及び基礎的・基本的な内容の確実な定着と個別最適な学習支援

（３）児童指導

- ・思いやりの心が育つ環境作り・望ましい生活習慣の育成
 - ・あいさつの励行、思いやりのある言葉遣い、「さん付けで呼び合う友達関係」を基本とし、全学級で継続して指導する。（温かい人間関係）
- 担任による時宜をとらえた教育相談の実施によって児童の今に寄り添うとともに、児童のよさを積極的に評価する。（自己有用感の高揚）
- ・「議論する道徳」を中核に自己の生き方について考えを深めるとともに、特別活動の充実を図り、協力し合うことを実感できるようにする。（議論する道徳・特別活動の充実）
 - ・一人一鉢活動や理科、道徳、総合的な学習の時間を通して、自然を大切にする心を育て、節電節水・エネルギー環境について考えようとする態度を育てる。（SDGS・宇都宮もったいない運動）

（４）健康（体力・保健・食・安全）・メディアリテラシー・・・習慣化と資質・能力の育成

- ・食習慣や食事マナーの育成、規則正しい生活など、望ましい生活習慣の形成に努める。
- ・生活安全・交通安全の充実に努め、事件・事故や災害を回避する為の危険予測・回避能力、安全に関する判断力と行動力を身につけさせる。（学校安全の徹底と行動力の育成）
- ・情報モラルについて継続的に指導するとともに、１人１台端末の安全な利活用及びスマホ・ケータイ宮っ子ルール家庭への啓発を行う。（メディアリテラシー）
- ・楽しさと活動量に満ちた教科体育や各種検定を通して、積極的に運動に取り組む児童を育てる。（体力向上の推進）

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標(小・中学校共通, 地域学校園共通を含む)

※「主な具体的な取組の方向性」には, A拡充 B継続 C縮小・廃止, を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は, 文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1ー(1) 確かな学力を育む教育の推進	A1 児童は, 他者と協力したり, 必要な情報を集めたりして考えるなど, 主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「私は, 学習課題を解決するために, 友達と話し合ったり, 必要な情報を集めたりしながら, じっくり考え, 進んで学習に取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上	① 考えを書く時間を確保し, 児童が自信をもって自分の考えを発表できるよう支援し, 他者との協働に必要な「聞く・話す」学習の徹底を図る。 ② 身に付けた知識や情報の活用を図る時間と場を設定し, 進んで表現させる。 ③ 「対話的な学び」を意識して, 話合いの形態を工夫するなど, 自分の思いを進んで表現することができる授業づくりに努める。 ④ デジタル機器やAI型個別学習ドリルの効果的な活用について検討を進め, 児童が主体的に学習に取り組めるよう努める。		【達成状況】 【次年度の方針】
1ー(2) 豊かな心を育む教育の推進	A2 児童は, 思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は, 誰に対しても, 思いやりの心をもって優しく接している。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	① 児童会活動で「なかよしプロジェクト」を実施したり, 体験活動と関連を図った道徳科の授業を実施したりして, 生命や人権を尊重する心や, 人を思いやる心などを涵養する。 ② 縦割り班活動や縦割り班清掃を実施し, 低学年から高学年まで幅広く関わり合い, 良好な上下関係を構築する。 ③ 「さん付け」や温かみのある言葉づかいについて, 日々の生活の中で定着できるよう継続的に指導する。		【達成状況】 【次年度の方針】
	A3 児童は, 目標に向かってあきらめずに, 粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 「児童は, 夢や目標に向かって, あきらめずに, 粘り強く取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	① 学校行事や各教科の授業, 各種検定等において, 児童が目標をもって取り組む機会を設け, 振り返りを重視するとともに, 目標の達成に向けて努力している児童を称賛する。 ② 作品掲示物やノート等に温かいコメントを書き, 認め励ます指導の充実を図る。 ③ キャリアパスポートを有効に活用し, 道徳や日常の指導においても, 児童を認め, 励ます指導に努める。		【達成状況】 【次年度の方針】

1- (3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒教職員 85%以上 ⇒保護者 85%以上	① 児童が自分の健康に気を付けて自ら健康を管理できるよう、感染症予防対策も含め、学級活動、体育、学校行事と関連を図った保健指導や日常生活指導を行う。 ② 学校給食と各教科等との関連を図った指導のもと、栄養のバランスのとれた食事や望ましい食習慣の形成を図る。 ③ 児童の「危険予測・回避能力」を高めるため、日常指導における安全指導を充実させるとともに、「交通安全教室」「避難訓練」「安全マップづくり」等を計画的に実施し、安全に対する意識を高めていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
1- (4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、互いの良さを生かしながら、進んで意見を発表したり、協力したりして、集団の課題を解決している。」 における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒保護者 85%以上	① キャリアパスポートを活用し、特別活動や学級活動の活性化を図り、児童が自らのよさを自覚して夢や目標の実現に向けて取り組もうとする意欲を育む。 ② 家庭や地域との連携による体験的活動を実施し、他者との協働のよさを実感できる場面を設定する。	【達成状況】 【次年度の方針】
2- (1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	A 6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、外国語活動（英語）の授業や ALT との交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	① ALT との事前打合せを充実させ、担任や ALT と児童、児童同士が楽しくコミュニケーションを図れるような授業を計画し、実践する。 ② 教職員の校内研修において、授業力向上に向けた授業実践の紹介、情報共有等を一層充実させ、授業に生かしていく。 ③ 日常生活の中で、ALT と児童が交流できる場を設け、積極的にコミュニケーションが図れるよう、環境を整える。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 7 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート 「私は、宇都宮の良さを知っている。」 における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上	① 生活科、社会科、総合的な学習の時間の授業において、視聴覚教材、市のホームページ、「宇都宮学」の副読本等を活用したり、校外学習で体験学習を行ったりして、児童が宇都宮の良さを実感できるような指導を実践する。 ② 教師自身が宇都宮市の歴史、文化、伝統産業、特産物等について理解を深めるよう努める。 ③ 児童が宇都宮の良さを実感できるような掲示物・展示物の工夫を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】

2- (2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進	A8 児童は、デジタル機器 や図書等を学習に活用し ている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、パソコンや図書等 を学習に活用している。」 における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	① 児童がデジタル機器を協働的な 学びに活用できるようにしてい く。 ② 学年に応じた、デジタル機器や図 書の利用ができるよう指導を工 夫する。 ③ 家庭でのデジタル機器の使用に ついて、学びのツールとして適切 に活用できるよう家庭と連携を 図る。 ④ 読み聞かせボランティアによる 「わくわくブック隊」や、委員会 による読み聞かせ活動を、テレビ 放送で行うなどの工夫をし、読書 指導を継続していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
2- (3) 持続可能な 社会の実現 に向けた担 い手を育む 教育の推進	A9 児童は、「持続可能な社 会」について、関心をも っている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、「持続可能な社会」 について、関心をもってい る。」 における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒教職員 85%以上	① 「持続可能な社会」について、関 心をもたせるために、身近な給食 指導において食について考えさ せ、健康や食料の大切さに対する 意識を高める。 ② 児童会活動、城東タイム、各教科 の学習等を通して、学校全体で環 境問題への関心を高め、環境と調 和しながら生きる意識や態度の 育成を推進する。 ③ 図書室の SDGs の関連書籍等を活 用し、児童の関心を高め、知識を 深める。	【達成状況】 【次年度の方針】
3- (1) インクルー シブ教育シ ステムの充 実に向けた 特別支援教 育の推進	A10 教職員は、特別な支援 を必要とする児童の実態 に応じて、適切な支援を している。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、特別な支援を必 要とする児童の実態に応じ て、適切な支援をしている。」 における肯定的回答 ⇒教職員 90%以上	① 毎週 1 回放課後の打ち合わせ時 に児童指導連絡会や特別支援委 員会を行い、支援を必要とする児 童について全教職員で支援の方 針等について共通理解を図り、一 人一人のニーズを踏まえた支援 を組織的に行う。 ② 特別な支援の必要な児童につい ては、個別の支援計画を作成し、 それに基づいた指導を行うとと もに、家庭との連絡も密に行っ ていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
3- (2) いじめ・不 登校対策の 充実	A11 教職員は、いじめが許 されない行為であることを 指導している。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、いじめが許され ないことを熱心に指導してく れる。」 における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒保護者 85%以上	① 学級活動や道徳、全校集会等 で、いじめが許されない行為で あることを日常的に指導し、思い やりや助け合い、規範意識等の心 を育て、人権感覚の向上や望まし い人間関係を築く力の育成を図る。 ② いじめアンケートを定期的の実 施し、教育相談等に活用し、児童 の実態を日常的に把握・いじめの 早期発見、防止に努めると共に、 保護者との連携を深めていく。 ③ 児童の様子について職員間で情 報共有や共通理解を図り、組織的 に対応する。 ④ 児童の様子について職員間で情 報共有や共通理解を図り、組織的 に対応する。	【達成状況】 【次年度の方針】

	A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」 における肯定的回答 ⇒児童 85%以上 ⇒保護者 85%以上	① 児童の自己肯定感を高められるよう、児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに、担任も認め励ます指導に努め、学級活動等で、お互いの良さや頑張り等の跡を可視化し、累積していく。 ② 「積極的に毎日一声かけてかわり続け」を合言葉に、児童の困りに寄り添い、支援する。 ③ 教育相談、アンケート、Q-U調査等の結果を活用し、不適応傾向のある児童の早期発見と不登校の兆候や傾向の児童について、組織的に対応し、チームとして複数で関わったり、ケース会議で対応を検討したりして、校内全体の情報共有を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
3－(3) 外国人児童生徒等への 適応支援の 充実	A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、児童の悩みに寄り添い、相談に乗ったり、問題の解決に努めたりして、児童が明るくいいきと学校適応を送れるようにしている。」 における肯定的回答 ⇒教職員 90%以上	① 学校行事や学級活動、児童会活動等において、児童が主体的に活躍したり、活動を振り返ってよさを実感したりできる場や、教師が認め励ます場を設け、自己有用感や自己肯定感を高めていく。 ② 外国人児童や多様な教育的ニーズをもつ児童について全教職員で共通理解を行い、組織的な支援を行っていく。 ③ 日常生活や授業の場において、児童相互が国籍や文化、個性の違いを認め合い尊重し合いながら生活できるような指導をしていく。	【達成状況】 【次年度の方針】
4－(1) 教職員の資 質・能力の 向上	A14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」 における肯定的回答 ⇒児童 90%以上 ⇒教職員 90%以上 ⇒保護者 90%以上	① 課題設定・ふりかえりの工夫、「対話的な学び」の場の設定、「城東スタイル」を活用した授業の充実、デジタル機器の活用や体験学習等、授業の工夫・改善に努め、分かる授業を展開する。 ② 落ち着いた雰囲気、学習時間づくり及び基礎的・基本的な内容の確実な定着と個別最適な学習支援に努める。 ③ 朝のパワーアップタイムの時間の確保と内容の充実を図る。 ④ 個人懇談等において、個々の児童の学習の成果や課題について、保護者と共通理解を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
4－(2) チーム力の 向上	A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校に関わる教職員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒教職員 90%以上	① ALT・少人数指導担当・図書館司書との事前打合せや情報交換の場を設けることで、より効果的な授業や学習法を目指していく。 ② 多様な専門性を有する学校スタッフとの情報交換やコミュニケーションを充実させ、児童理解を深め、個に応じた効果的な指導方法を模索していく。	【達成状況】 【次年度の方針】

4-(3) 学校における働き方改革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上	① 全職員が学校経営への参画意識をもち、チームとして課題に取り組み、業務の効率化、充実を図る。 ② 教職員が相互に業務内容を理解し合い、それぞれの強みを生かした連携を図れるよう日々情報交換を密にしていける。	【達成状況】 【次年度の方針】
5-(1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、小学校と中学校が連携した「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 における肯定的回答 ⇒教職員 80%以上 ⇒保護者 80%以上	① 乗り入れ授業や中学校訪問、中学生のボランティア受け入れ、あいさつ運動等の連携事業を充実させる。 ② 小小間・小中間の「読書ゆうびん」事業を、継続して行う。 ③ 学校だよりやHP等を通して、小中一貫の取組を、保護者へ情報発信する。	【達成状況】 【次年度の方針】
5-(2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 全体アンケート 学校は、家庭・地域・企業と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 における肯定的回答 ⇒保護者 85%以上 ⇒地域住民 85%以上	① 家庭・地域の教育力を積極的に生かした教育活動の充実を図り、「地域とともにある学校づくり」の推進に努める。 ② 保護者や地域の方々、関係機関と連携し、生活科や総合的な学習の時間、学校行事等を実施していく。 ③ 活動の様子をホームページや各種便りを活用し、保護者及び地域へ積極的に発信していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
5-(3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進			
6-(1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 における肯定的回答 ⇒教職員 85%以上 ⇒保護者 85%以上	① 毎月、各教室、特別教室、廊下、体育館等を、チェック項目に基づく安全点検を実施し、危険箇所の改善や修繕に努めるとともに、ホームページ等を通して実施状況を保護者に周知する。 ② 実際場面で生きて働く訓練となるように実施方法を工夫するとともに自己判断力及び危険回避能力を高める指導を学級活動等で行っていく。 ③ 気温・湿度・気流状況を定期的に確認し、適切な保健指導や管理に努める。(新型コロナウイルス感染症の対策も含む。)	【達成状況】 【次年度の方針】
6-(2) 学校のデジタル化推進	A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。 【数値指標】 全体アンケート 「教職員は、授業（授業準備を含む）や業務にデジタルを積極的に活用している。」 における肯定的回答 ⇒教職員 90%以上	① ITC支援員と連携を図り、デジタル機器を積極的に活用していく。 ② 学年に応じたデジタル機器の効果的な活用ができるよう、環境を整備する。	【達成状況】 【次年度の方針】

小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B 1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒地域住民 85%以上	① 「明るいあいさつ」を合言葉に、全校朝会等で、全体指導を行うとともに、「時と場に応じたあいさつ」「先手のあいさつ」の意識化を目指す。 ② 教職員による率先したあいさつや、代表委員による「あいさつ運動」を継続し、あいさつの徹底を図る。 * 旭学校園共通目標 ③ あいさつについて、日常的な指導に加え、「あいさつ運動」の強調月間を設け集中的に指導したりするなどして、徹底を図る。 ④ 学校だより等で家庭や地域でもあいさつを奨励するなどの協力依頼を行う。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B 2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童はきまりやマナーを守って、生活している」 における肯定的回答 ⇒児 童 90%以上 ⇒教職員 90%以上 ⇒保護者 90%以上	① 「城東っ子の約束」を基に、全職員が同一步調で児童指導に当たるようにする。 ② 週末に、生活目標に対するふりかえりを行い、次週に生かせるようにする。 ③ 学級活動や道徳、全校集会等で、日常的に指導し、人権感覚の向上を図るとともに思いやりのある行動を奨励していく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B 3 児童は、自分の健康や安全に関心を持ち、健康的な生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、自分の健康や安全に関心を持ち、健康的な生活をしている。」 における肯定的回答 ⇒児 童 85%以上 ⇒教職員 85%以上 ⇒保護者 85%以上	① 「健康票」「元気っ子体力テスト結果」等の記録票を活用し、健康への意識の向上を図る。 ② 防災教育や環境問題を取り上げた行事を計画し、体験活動を取り入れながら、保護者、地域と一体となった取組を推進する。 ③ 手洗いの徹底等、自分の健康管理への関心を高める指導を継続して行う。	
	B 4 児童は、分かったことや気付いたことを、相手に分かりやすく伝えている。 【数値指標】 全体アンケート 「児童は、分かったことや気付いたことを、相手に分かりやすく伝えている」 における肯定的回答 ⇒児 童 80%以上 ⇒教職員 80%以上	① 学年の発達段階に応じた「話すこと」「書くこと」の資質・能力を高める指導を充実させるために、「自分の考えや意見を書いて整理し、まとめるための時間の確保」「根拠を明確にしながら伝え合える場の設定」を推進する。 ② デジタル機器を活用した発表の工夫や協働的な学習の推進など、表現力を高めるための指導を充実させる。	

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。